

2013年3月期 第2四半期 決算説明会資料



新田ゼラチン株式会社

2012年11月13日

1. 事業概要
2. 2013年3月期
第2四半期実績
3. 2013年3月期見通し、
中期・長期展望
4. 巻末資料

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 事業概要

会社概要

会社名	新田ゼラチン株式会社 (Nitta Gelatin Inc.)
代表者	代表取締役社長 曾我 憲道 (そが のりみち)
本社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年(大正7年)1月
設立	1945年(昭和20年)2月
資本金	1,577百万円
売上高	単体:205億円 (2012年3月期) 連結:277億円 (2012年3月期)
従業員数	単体:254名 (2012年3月末現在) 連結:592名 (2012年3月末現在)
事業内容	ゼラチンの製造・販売 コラーゲンペプチドの製造・販売 コラーゲンケーシングの製造・販売 医療用ゼラチン・コラーゲンの研究・開発 食品材料の製造・販売 接着剤の製造・販売

事業セグメント・部門と主要製品

事業セグメント	部門	主要製品および分野
コラーゲン 素材事業	ゼラチン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食用ゼラチン（パン・菓子製造業、総菜製造業、冷凍調理食品製造業等） → グミやマシュマロ等の製菓、各種食品、コンビニ惣菜や冷凍食品 等 ・ カプセル用ゼラチン（医薬品製造業、健康食品等の食品製造業） → ハード・ソフトカプセル、ミニカプセル 等 ・ 写真用ゼラチン（写真感光材料製造業） → カラーフィルム・印画紙、レントゲンフィルム 等
	ペプチド	<ul style="list-style-type: none"> ・ コラーゲンペプチド（乳製品製造業、飲料業やパン・菓子製造業） → 栄養補助食品、サプリメント、機能性栄養食品 等
	ケーシング	<ul style="list-style-type: none"> ・ コラーゲンケーシング（畜産食料品製造業） → ソーセージ、スナック類
	ライフ サイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究用・生体材料コラーゲン、ゼラチン（医療機器メーカーや研究機関） → 組織培養用研究試薬、人工皮膚や人工骨等
フォーミュラ ソリューション 事業	食品材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食用ゲル化剤、各種品質安定剤（食料品製造業） → デザートゼリー、総菜、畜肉製品等
	接着剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホットメルト形接着剤（各種産業分野） → 包装、製本、建材、衛生材料等。 ・ にかわ系接着剤（紙加工品製造業） → 製本や紙器、紙工等 ・ 高機能樹脂（電気機械器具製造業等） → 家電製品、電子機器等

2. 2013年3月期 第2四半期実績

業績概要

■ 対前年同期比

減収、減益

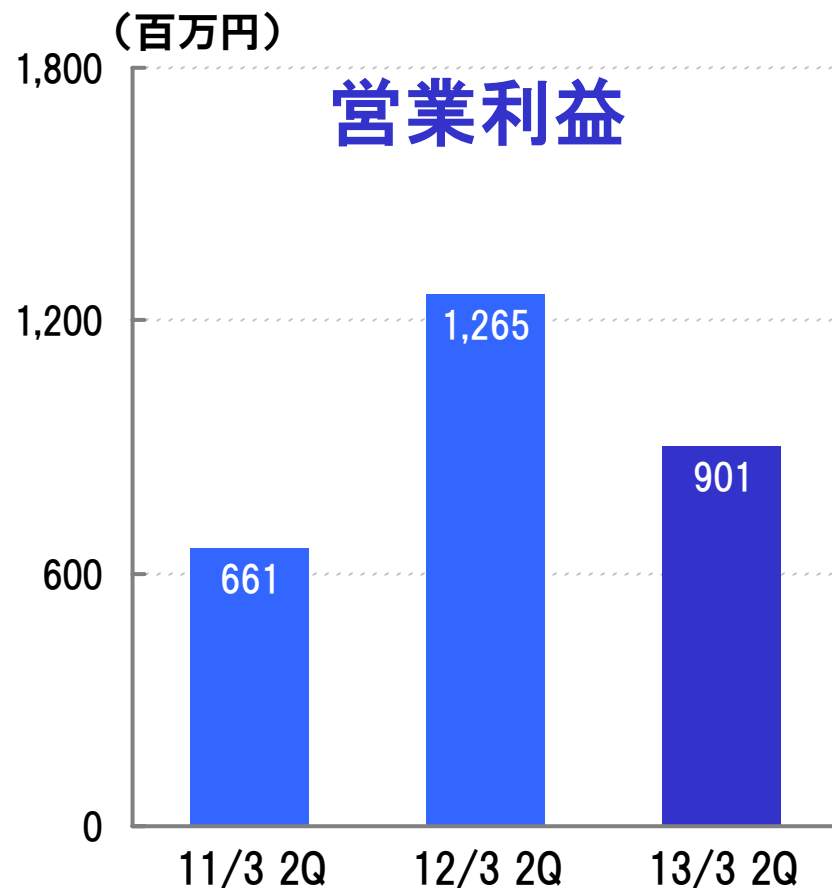
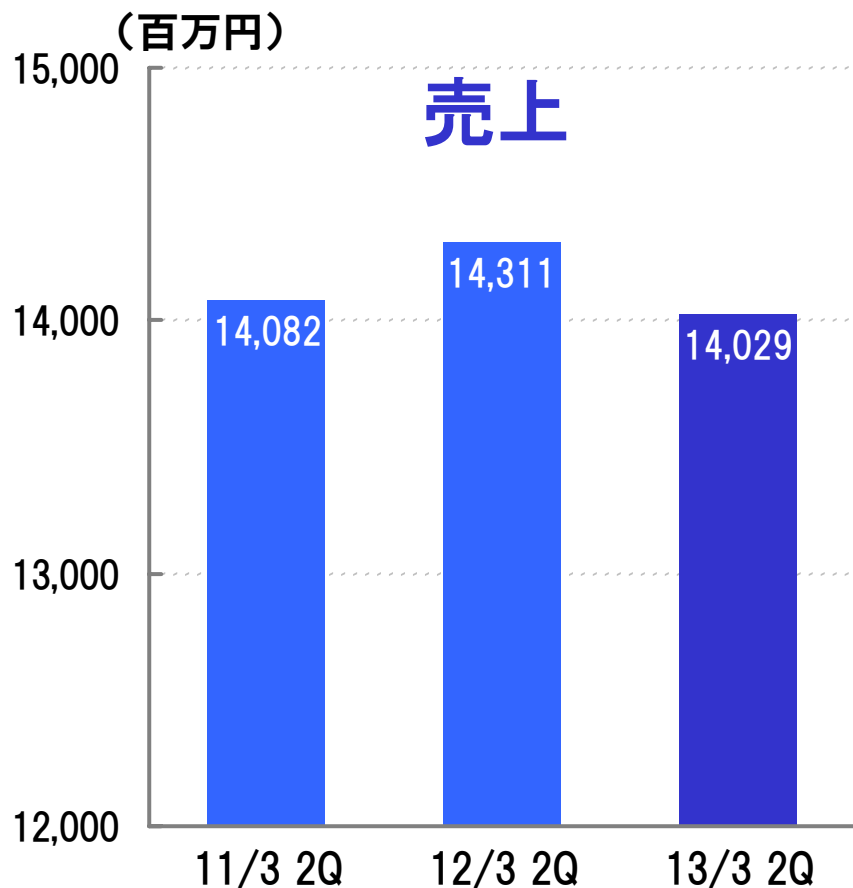
■ 対前々年同期比

売上横ばい、増益

業績推移 ①

- 海外: 好調に推移
- 国内: 写真用の減少

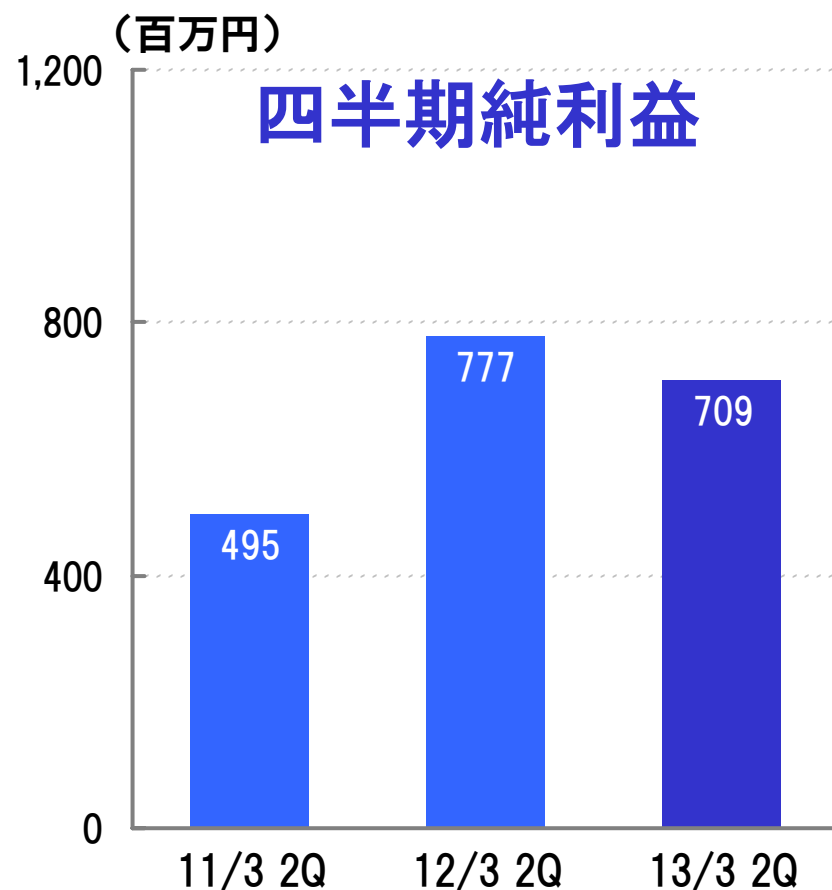
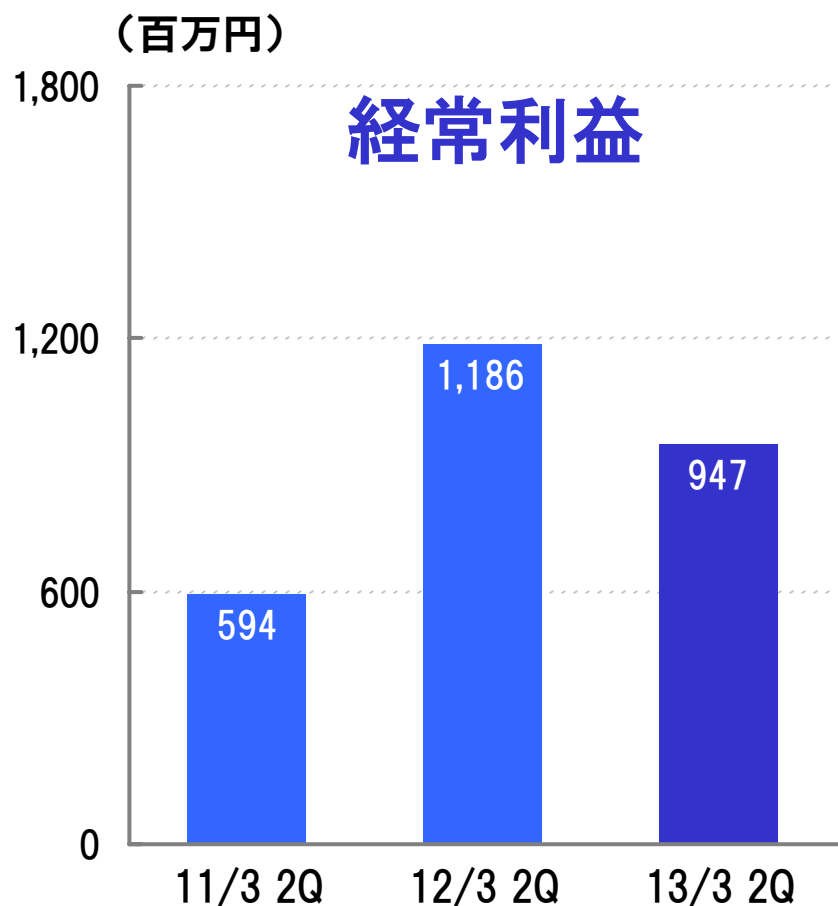
- 国内販売低迷による売上総利益減少



業績推移 ②

■ 持分法による投資利益の増加

■ 税負担の減少



業績予想比

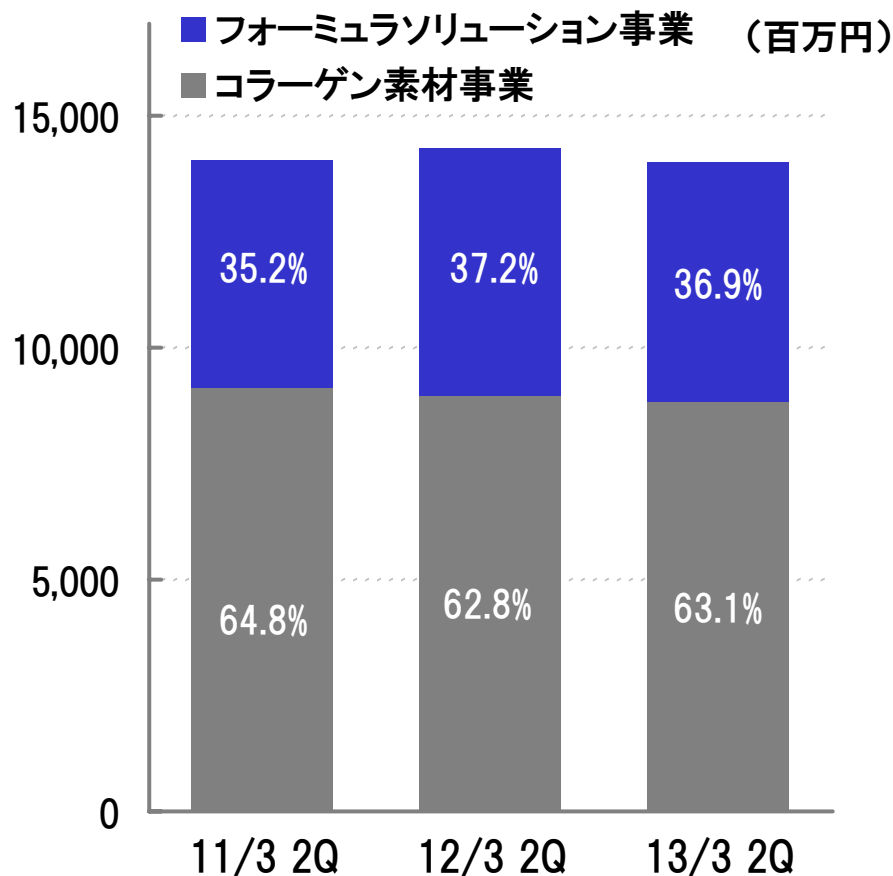
- 売上は計画通り。
- 営業利益、経常利益は写真用の国内売上低迷により減益。
- 四半期純利益は税負担減少、固定資産除却損減少。

(百万円)	2013/3 2Q	2013/3	増減	増減比
	業績予想	2Q		
売上高	14,000	14,029	+29	+0.2%
営業利益	1,000	901	△98	△9.9%
経常利益	1,020	947	△72	△7.1%
四半期純利益	660	709	+49	+7.4%

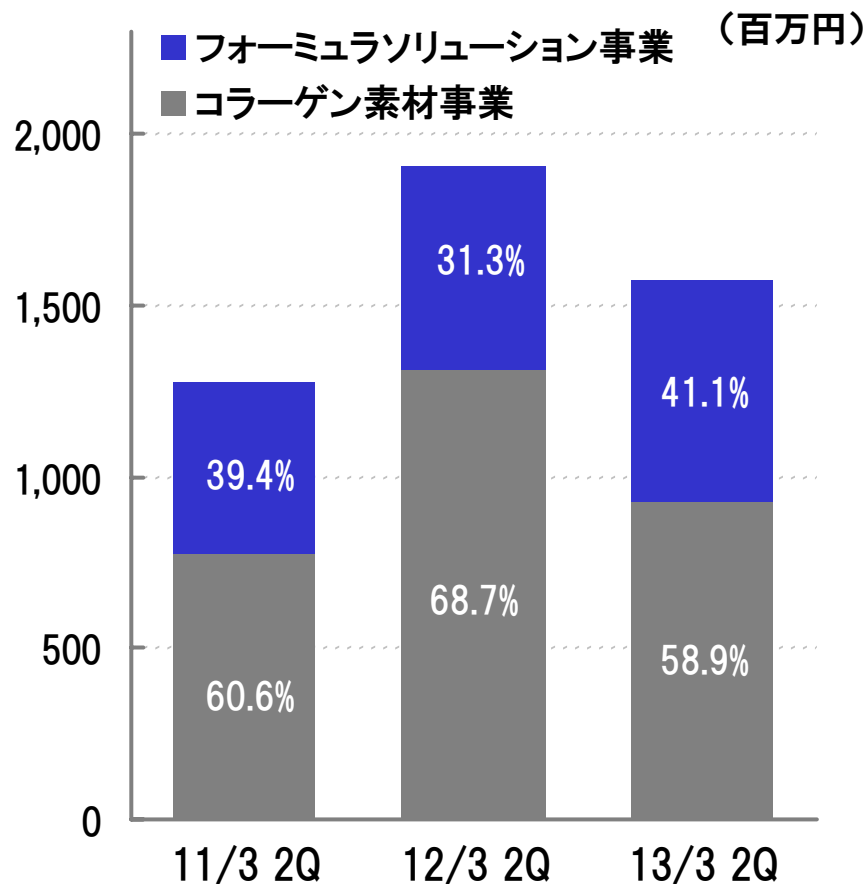
セグメント構成比推移

■ 売上高構成比は大きな変動なし。セグメント利益はコラーゲン素材比率が減少。

売上高



セグメント利益



コラーゲン素材事業

- 前年同期比: 減収、減益。
- 前々年同期比: 減収、増益。

■ ハイライト

● ゼラチン部門:

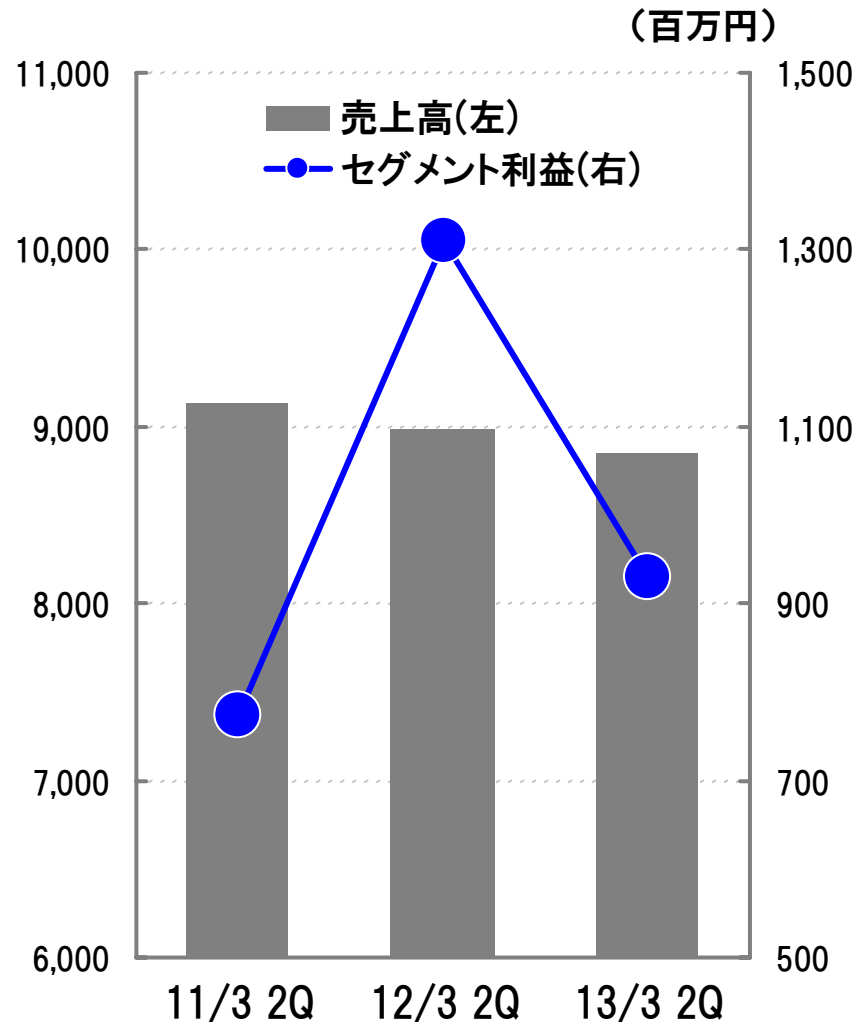
- (国内)
 - ・カプセル用は堅調。
 - ・食用は前年同期の需要が沈静化。
 - ・写真用大幅減。
- (海外)
 - ・食用、カプセル用とも需要が旺盛。
 - ・価格改定で海外売上は好調。

● ペプチド部門:

- (国内)
 - ・他素材との競争、価格低下。
- (海外)
 - ・中国市場の開拓遅れ。

● ケーシング部門:

- ・米国畜肉市場が堅調。中国輸出も好調。



フォーミュラソリューション事業

- 前年同期比:減収、増益。
- 前々年同期比:増収、増益。

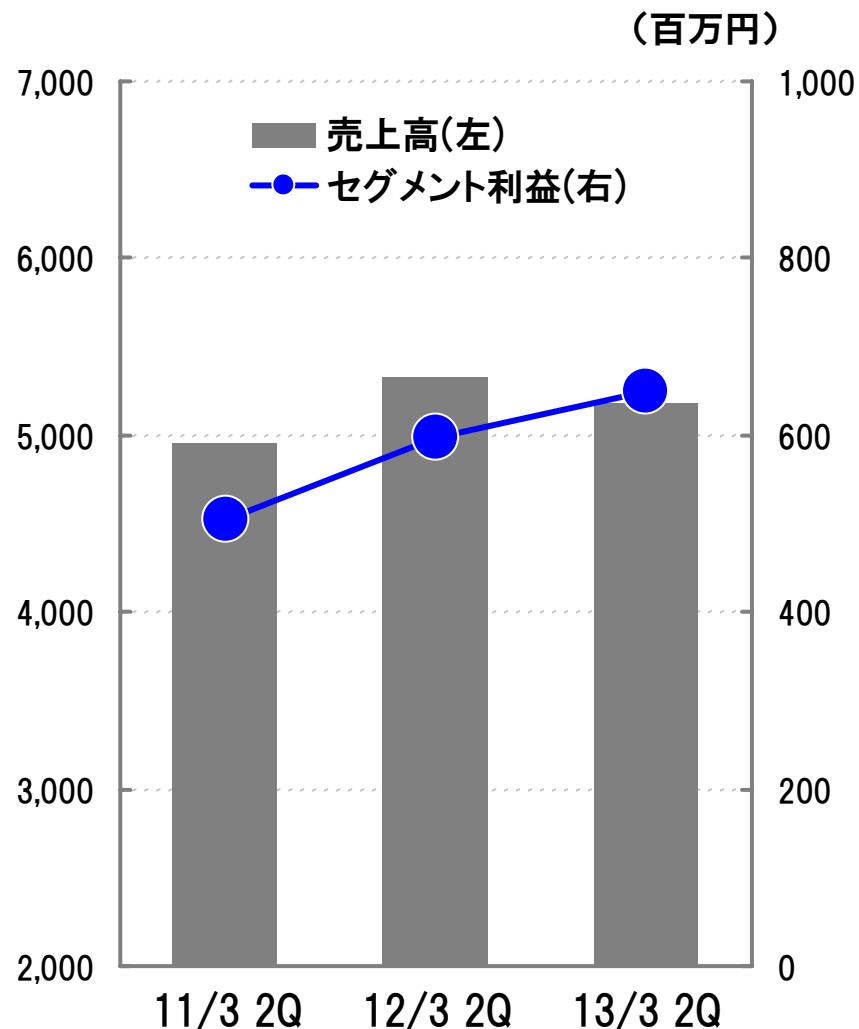
■ ハイライト

● 食品材料部門:

- デザート用ゲル化剤、畜肉製品用品質安定剤が好調。
- 総菜用は競争激化。

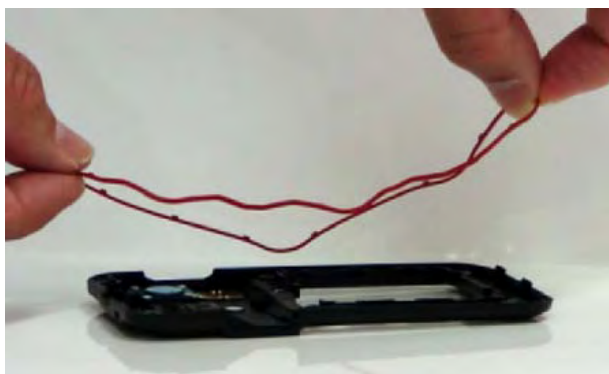
● 接着剤部門:

- 製本用が減少。
- 一部事業譲渡により売上減少。
- 高機能樹脂の事業化スタート。

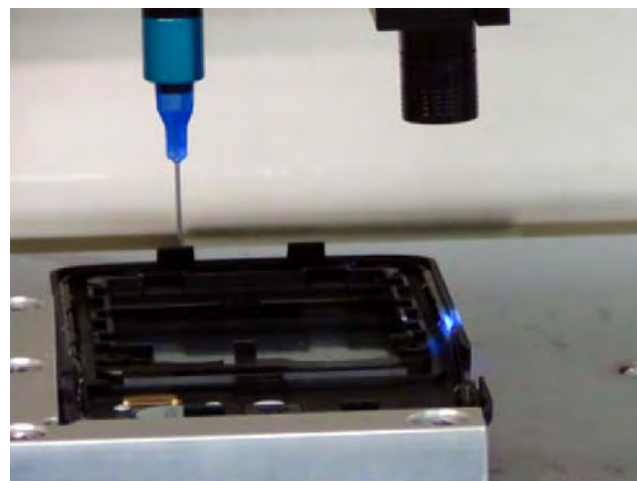


シーラント革命 [高機能樹脂]

従来:手作業



ロボットによる自動塗工

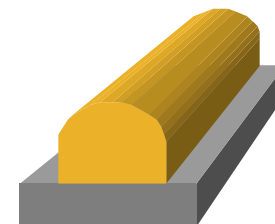
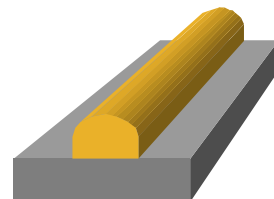
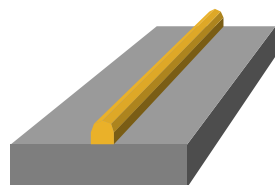


シーラント革命 [高機能樹脂]

ガスケットサイズ

1mm

4mm



タイプ名
用途例

CIPG

デジカメ
スマホ

UVFG

ガスメーター
LED照明

FIPFG

配電盤
自動車ドア

UV照射硬化型

2液反応
硬化型

非発泡型

発泡型

シーラント革命 [高機能樹脂]



スマートメーター

貸借対照表 (B/S)

- たな卸資産増加により資産増加
- 利益剰余金増加により株主資本増加

(百万円)	2012/3	2013/3 2Q	増減
流動資産	14,935	15,237	+301
現金・預金	2,098	2,033	△64
受取手形・売掛金	6,449	6,371	△77
たな卸資産	5,971	6,301	+330
その他流動資産	417	530	+112
固定資産	8,436	8,354	△81
有形固定資産	5,387	5,449	+62
無形固定資産	18	42	+24
投資等	3,030	2,862	△168
資産合計	23,371	23,591	+219

(百万円)	2012/3	2013/3 2Q	増減
流動負債	9,176	9,174	△2
支払手形・買掛金	3,476	3,695	218
短期借入金・社債等	3,133	3,155	+21
その他流動負債	2,565	2,323	△242
固定負債	6,087	6,019	△67
長期借入金等	3,461	3,558	97
退職給付引当金	2,158	2,008	△149
その他固定負債	467	452	△15
負債合計	15,263	15,193	△70
株主資本	9,865	10,448	+582
その他包括利益累計額合計	△1,832	△2,120	△288
少数株主持分	74	69	△4
純資産合計	8,108	8,398	+289
負債純資産合計	23,371	23,591	+219

キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

- 営業CF: 売掛債権は期初から変化なし。
- 投資CF: 有形固定資産取得による支出増。
- 財務CF: 社債償還、配当金支払いにより減少。

(百万円)	2011/3 2Q	2012/3 2Q	2013/3 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△337	152	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	△310	△467
フリーキャッシュ・フロー	△469	△157	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	484	182	52
現金及び現金同等品の増加額	△27	△24	△64
現金及び現金同等品の期首残高	1,467	1,538	2,078
現金及び現金同等品の期末残高	1,439	1,513	2,013

主要指標

(百万円)

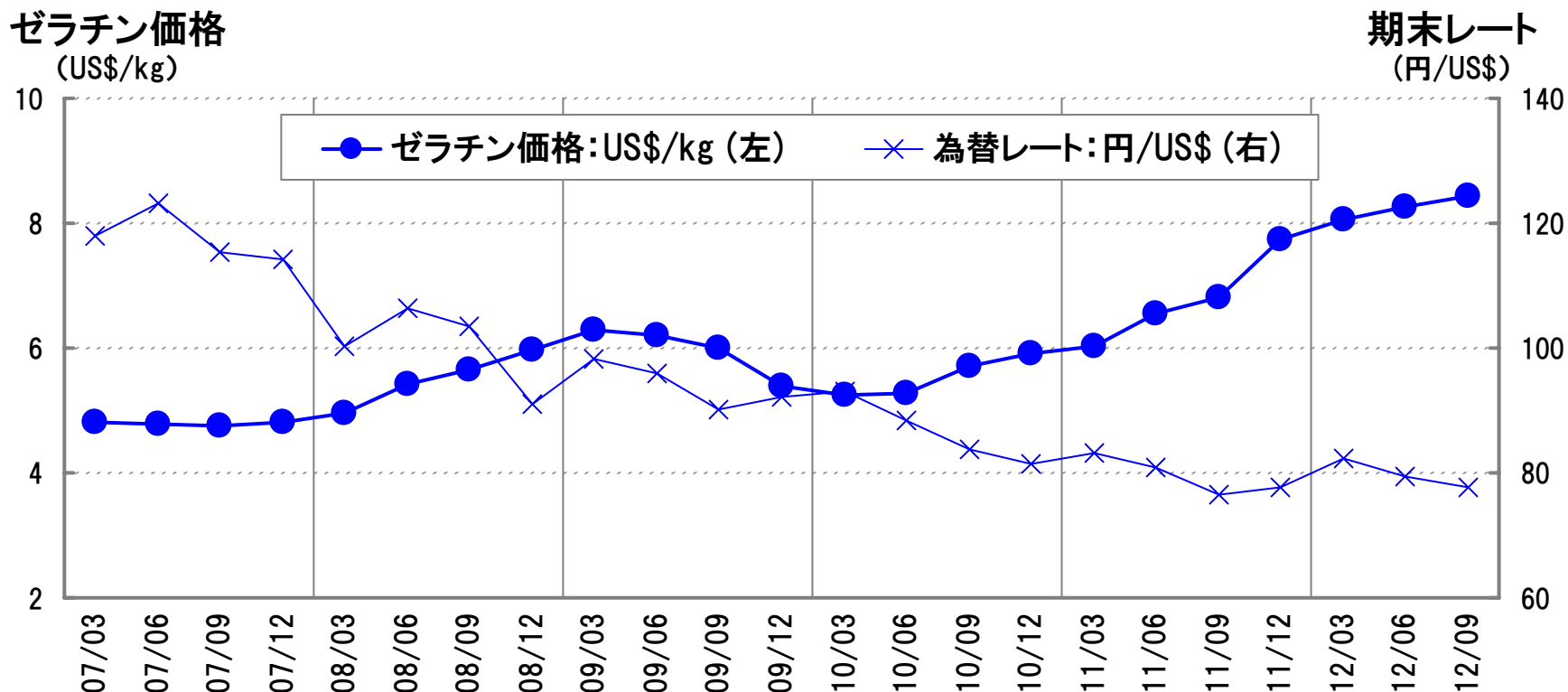
	2011/3 2Q	2012/3 2Q	2013/3 2Q
売上高	14,082	14,311	14,029
海外売上比率	30.7%	27.6%	31.8%
営業利益	661	1,265	901
営業利益率	4.7%	8.8%	6.4%
当期純利益	495	777	709
当期純利益率	3.5%	5.4%	5.1%
自己資本	5,578	5,892	8,328
自己資本比率	25.2%	26.6%	35.3%



3. 2013年3月期見通し、 中期・長期展望

今期外部環境の認識 <期初と変化なし>

- ゼラチン国際価格は、需要増加、原料タイトを背景に高止まり。
- 円高は継続。
- 中国、インド等、アジア諸国の経済成長は堅調。コラーゲンケーシング・ゼラチン・ペプチドの需要は伸長。



2013年3月期見通し

■ 期初計画着地に向け対策を実施。

(百万円)		2011/3	2012/3	2013/3 (計画)	2013/3	
					12/3期比	11/3期比
売上高		27,923	27,763	28,900	+4.1%	+3.5%
売上総利益		6,325	6,838	7,220	+5.6%	+14.1%
	利益率	22.7%	24.6%	25.0%	—	—
営業利益		1,486	2,015	2,070	+2.7%	+39.3%
	利益率	5.3%	7.3%	7.2%	—	—
経常利益		1,383	2,002	2,100	+4.9%	+51.8%
	利益率	5.0%	7.2%	7.3%	—	—
当期純利益		1,051	1,375	1,370	△0.4%	+30.3%
	利益率	3.8%	5.0%	4.7%	—	—

投資計画

(百万円)

	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3 (計画)
設備投資額	603	946	673	1,487
減価償却費	818	898	841	888

2013/3 主要な設備投資の概要

(百万円)	2013/3 投資額	総投資額	投資効果(目標)
国内ゼラチン省エネ 設備導入	360	360	2014/3月期に CO ₂ 25%削減 (2011/3期対比)
北米ケーシング製造 設備の更新	234	640	2014/3月期に、約30%の生産性改善
北米ペプチド 生産工場の建設	560	※1,400	生産規模1,000トン (2014年3月期稼働)

※ 設備仕様見直しにより1,000百万円から1,400百万円に投資金額変更

株主還元

<配当金>

2013年3月期： 中間配当 6円（決定）
 期末配当 6円（予定）
 合 計 12円
 [前年比2円増配予定]

<株主優待制度>

2012年7月実施済、今後も継続予定

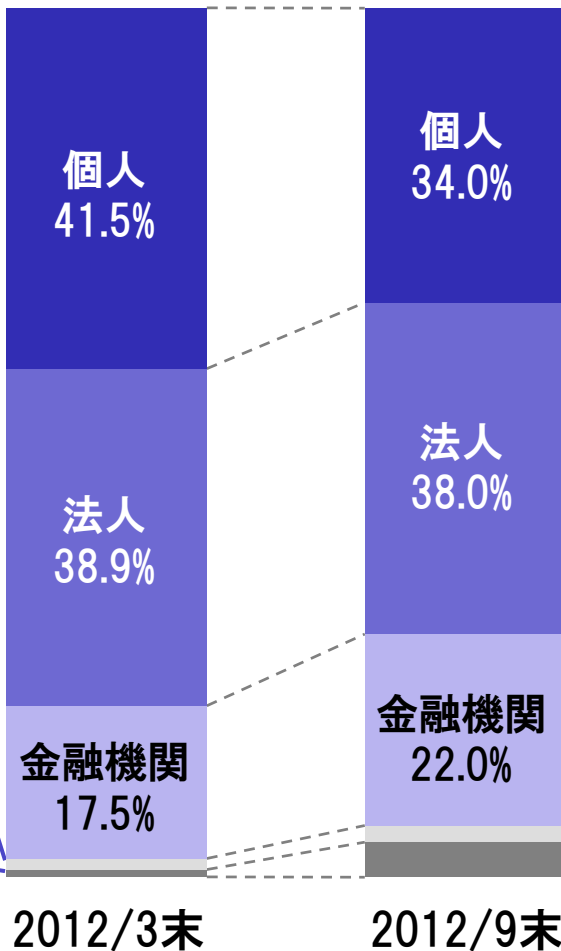
実施内容

- 100株～500株未満：
1,000円相当の(自社商品用)お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の自社商品(健康食品等)

株式分布変化

株式数

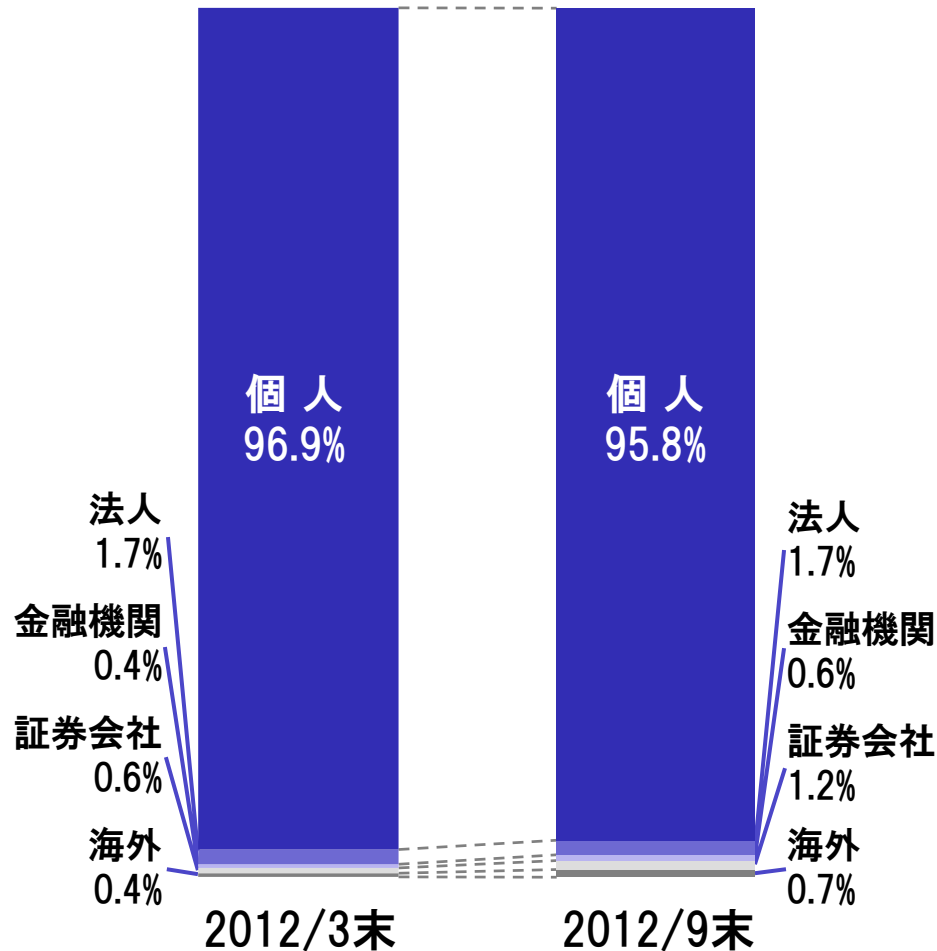
15,770千株



株主数

3,812名

2,689名



当社の特徴

- ゼラチンシェア

国内 ▶ トップ、世界 ▶ 第4位

- 成長する3本柱

ゼラチン、ペプチド、ケーシング

- グローバルネットワーク

北米・アジアに事業拠点、販売網を構築

- ソリューション力^{リョク}

アプリケーション開発・提案

高機能樹脂(シーラント)の開発

今期の取り組み

〈期初と変更なし〉

セグメント	部門	備考
コラーゲン 素材	ゼラチン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北米でのゼラチン販売拡大および価格改定 ・ アジアでのゼラチン販売拡大 ・ 日本での高付加価値ゼラチンの販売拡大 ・ 新規原料拠点の開拓と調達
	ペプチド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国での販売拡大 ・ 日本での販売拡大
	ケーシング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産設備更新による生産性向上 ・ 中国合弁事業の開始
	ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療用コラーゲン、ゼラチンの国内外での普及
フォーミュラ ソリューション	食品材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニ、シニア食市場での開発商品の販売拡大
	接着剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新開発ホットメルト形接着剤の販売拡大 ・ 高機能樹脂(電子機器等向けシーラント)販売拡大
全社	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省電力・省エネ取り組みによるCO₂削減と製造コストダウン

トピックス(新会社紹介)

中国

会社名

北京新田膠原腸衣有限公司

Beijing Nitta Collagen Casing Co., Ltd.

所在地

中国 北京市

設立

2012年9月

事業内容

コラーゲンケーシングの製造販売

出資比率

ニッタホンコンLtd. 70%

北京秋実農業発展有限公司 30%

ベトナム

会社名

Nitta Gelatin Vietnam Co., Ltd.

所在地

ベトナム ロンアン省

設立

2012年12月(予定)

事業内容

ゲル化剤の製造販売

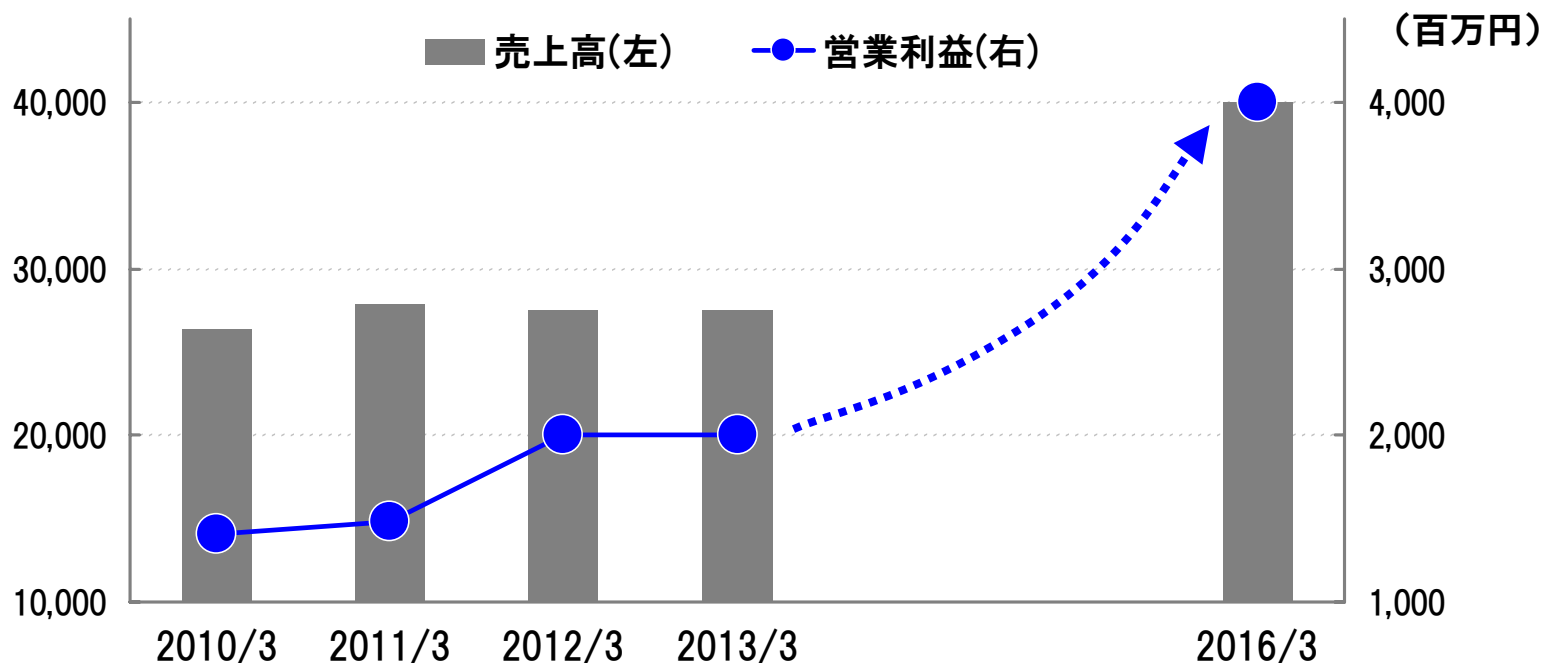
出資比率

新田ゼラチン株式会社 75%

Shanghai International Trading Co., Ltd. 25%

中長期展望

- アジアに製造・販売拠点の基盤をもつ当社の強みを、事業成長の機会と認識。
- 中国・インド等、アジア諸国の経済成長は継続し、ゼラチン・ペプチド・ケーシングともに堅調な需要増が見込んでいます。
- 世界的には原料はタイトで、南米では原料不足によりゼラチン工場の稼働率が低下。
- グループの供給能力増強と原料調達力強化、製品提案力によって事業拡大を目指します。



新中期経営計画「CFG戦略2016」

「アジア圧倒的No.1、 世界オンリーワン」企業へ

2016年3月期 連結売上高： 400億円
連結営業利益： 40億円



新田ゼラチン株式会社

ご清聴ありがとうございました



新田ゼラチン株式会社

4. 卷末資料

経営理念

社是

愛と信を基盤とし
最高の技術と
最大の活力により
社業を発展させ
もって社会に貢献し
希望ある人生をきずこう



ハンドブック
(経営理念、中期経営計画、行動指針)

起業の歴史

新田長次郎

20歳で松山から単身大阪へ

製革工場に奉公する

類なき熱意と工夫、起業

新田帯革製造所

動力伝導用
革ベルトを
日本で初めて製造

革ベルト製造用タンニン調達

カシワ樹皮を求め
北海道に広大な
原野を購入、開拓
(伐採、植樹、牧地・農地化)

事業拡大と多角化

皮以外のゴムベルト製造

ベルト製造副産物の
牛皮片等から
「にかわ」を製造

タンニン製造副産物の
カシワ樹幹材や雑木から
合板(ベニヤ板)を生産

伐採後の平地は牧畜業に

新田ベルト
ニッタ(株)

1885年
明治18年

新田ゴム工業

1914年
大正3年

新田膠質工業

新田ゼラチン(株)

1918年
大正7年

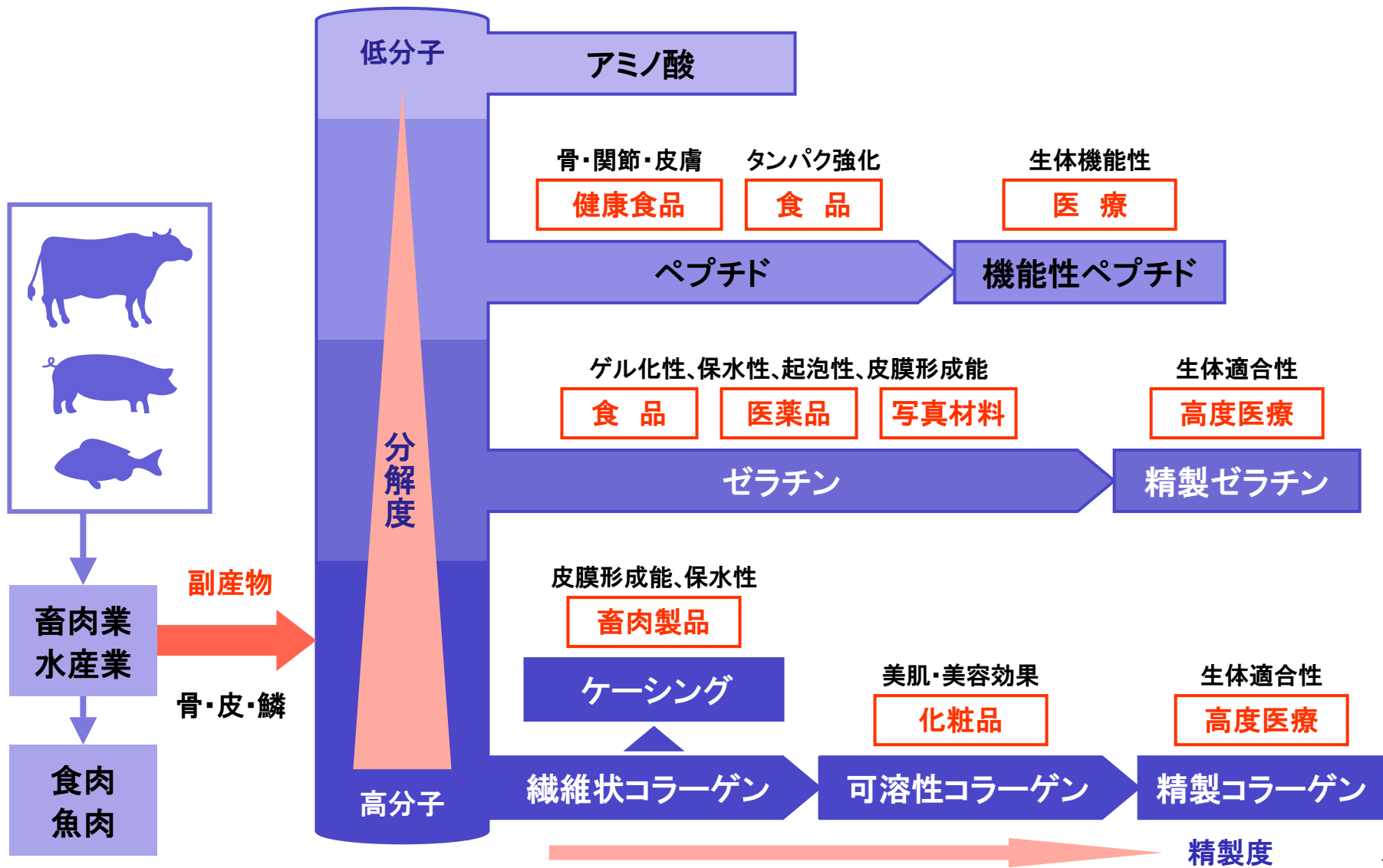
新田ベニヤ
(株)ニッタクス

1919年
大正8年

新田牧場

1948年
昭和23年

コラーゲンとゼラチン、コラーゲンペプチドの関係



市場変化への対応

ニカワ・工業用ゼラチン
食用・医薬用ゼラチン
コラーゲン
ゲルチン
コラーゲン
ペプチド

1918年 にかわ・ゼラチンの製造開始: マッチ、レコードジャケット

1960年代 マイクロカプセル: 感圧紙

1980年代 銀塩写真: 写真フィルム、印画紙

1990年代 菓子: グミ、ソフトキャンディー

2000年代 総菜: コンビニ総菜・デザート
医薬品・健康食品: カプセル

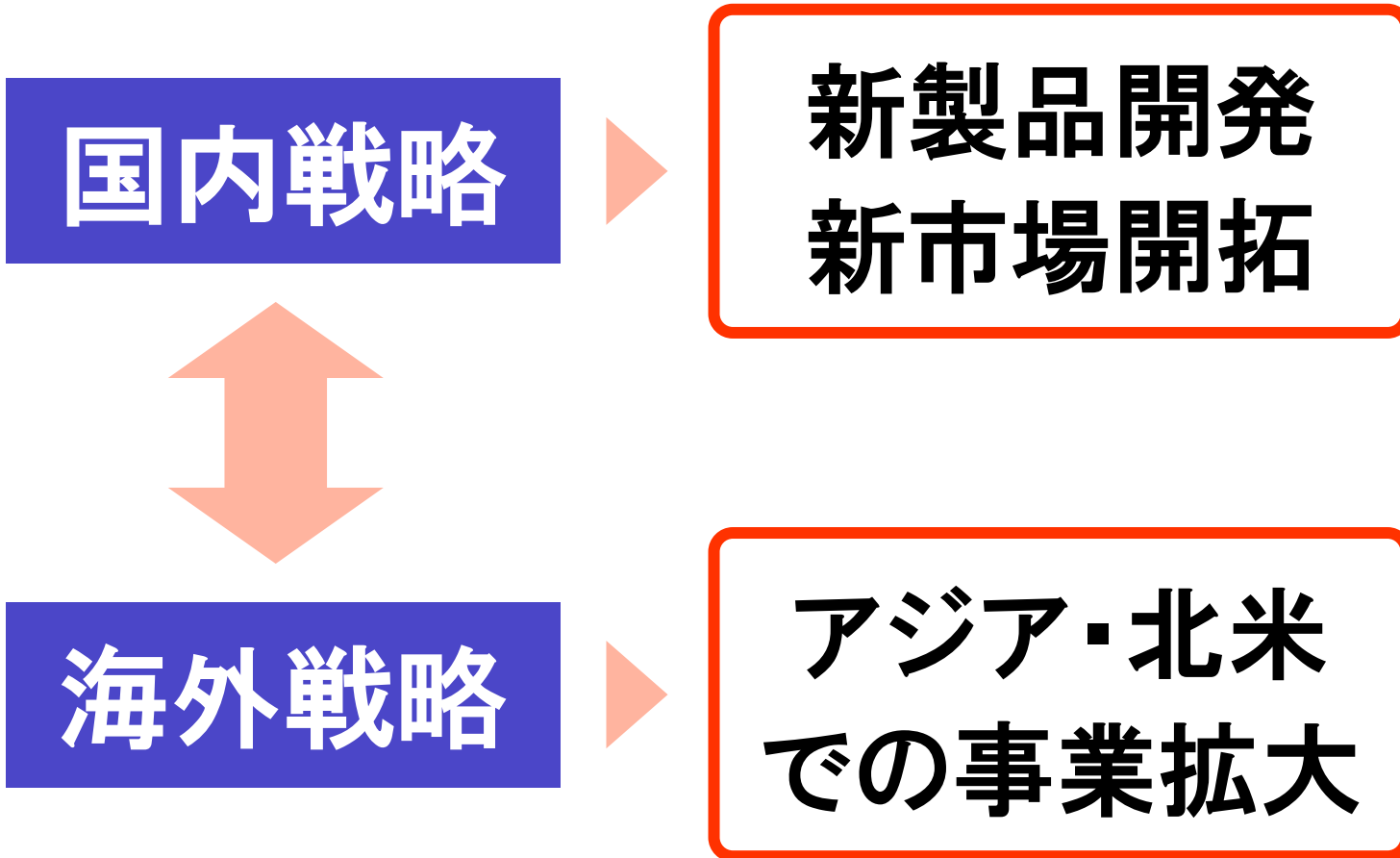
2010年代 シニア向け食品: 嚥下食
タンパク食

.... 機能性ペプチド
医療用ゼラチン・コラーゲン

沿革

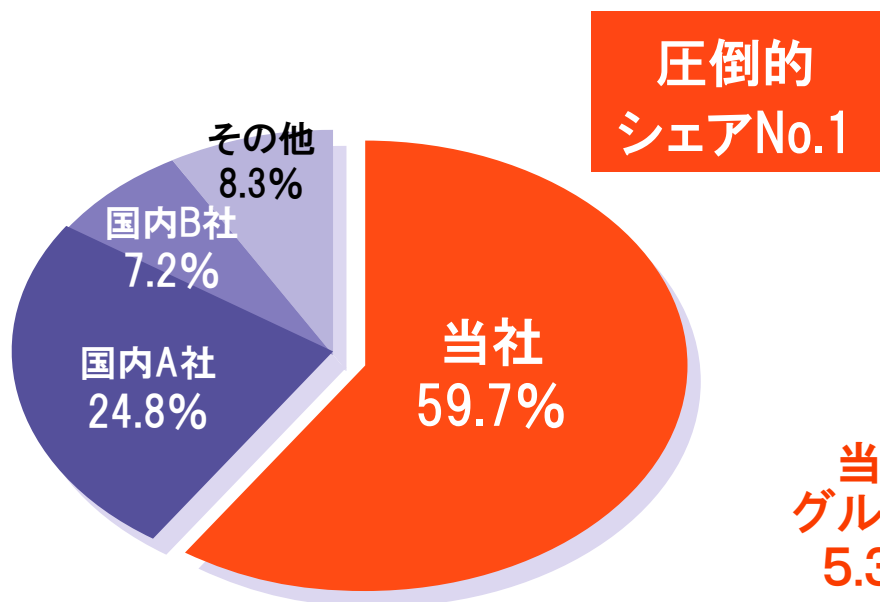
1918年	大正7年	1月	日本で初めてゼラチン・にかわの製造を開始
1935年	昭和10年	1月	八尾工場竣工 (現 大阪工場)
1945年	昭和20年	2月	新田膠質工業株式会社を設立
1960年	昭和35年	4月	商号を新田ゼラチン株式会社に変更
1968年	昭和43年	2月	彦根ゼラチン株式会社を設立 (現 連結子会社)
1971年	昭和46年	3月	接着剤事業部発足
1974年	昭和49年	8月	食材事業部発足
1975年	昭和50年	4月	Nitta Gelatin India Ltd. (インド)を設立 (現 関連会社)
1979年	昭和54年	7月	Nittta Gelatin NA Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
1982年	昭和57年	4月	ボスティック・ニッタ株式会社を設立 (現 関連会社)
1982年	昭和57年	11月	奈良工場竣工
1990年	平成2年	5月	Nitta Gelatin Canada, Inc.(カナダ)を設立 (現 連結子会社)
1996年	平成8年	8月	Nitta Casings Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
			Nitta Casings (Canada) Inc.(カナダ)を設立 (現 連結子会社)
1998年	平成10年	4月	株式会社アイビスを設立 (現 連結子会社)
1999年	平成11年	1月	Nitta Gelatin India Ltd. (インド)でゼラチン製造工場竣工 (現・関連会社)
2004年	平成16年	4月	株式会社アルマコーポレーションを設立 (現 連結子会社)
2004年	平成16年	9月	株式会社ニッタバイオラボを設立 (現 連結子会社)
2004年	平成16年	12月	Nitta Gelatin Holding, Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
			Nitta Gelatin USA, Inc.(米国)を設立 (現 連結子会社)
2010年	平成22年	12月	広東百維生物科技有限公司(中国)を設立 (現 関連会社)
2011年	平成23年	9月	上海新田明膠有限公司(中国)を設立 (現 連結子会社)
2011年	平成23年	12月	東京証券取引所市場第二部上場
2012年	平成24年	3月	Nitta Hong Kong Ltd.(中国)を設立 (現 連結子会社)
2012年	平成24年	9月	北京新田膠原腸衣有限公司(中国)を設立 (現 連結子会社)

当社の成長戦略

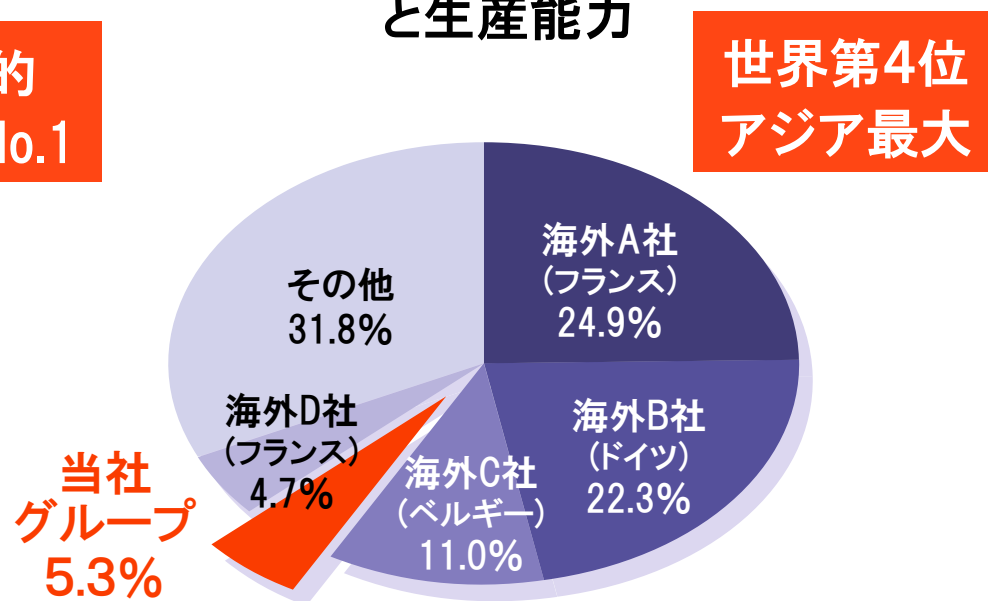


ゼラチンシェア

日本でのゼラチン販売量



世界のゼラチン製造者と生産能力

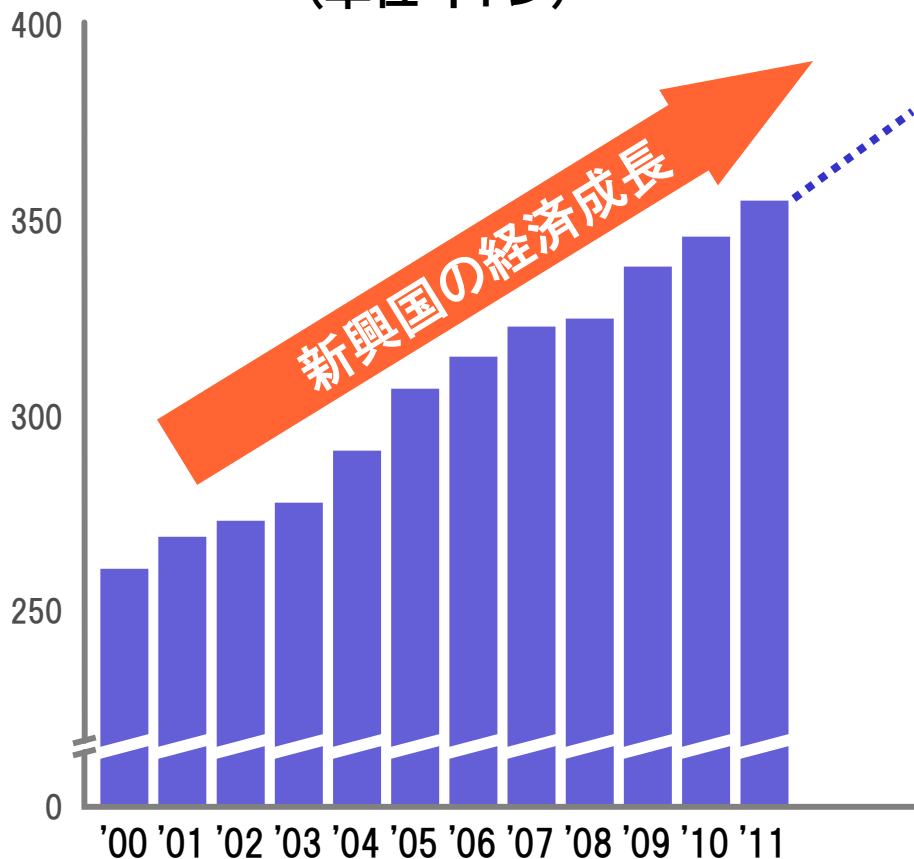


出典：『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』(2012年3月期)
欧州ゼラチン工業組合、環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で集計

- 国内A社： 皮革関連、非皮革関連(ゼラチン部門、コラーゲン部門)、その他で事業展開。ゼラチンの一貫生産を取りやめ、国内外の協力工場で委託生産。
- 海外A社： グローバルフードカンパニーの1事業部門
- 海外B社： ゼラチンおよび周辺事業特化型企业
- 海外C社： 国際化学品メーカーの1事業部門

ゼラチンは古くて新しいグローバルニッチ製品

世界のゼラチン生産動向
(単位:千トン)



国内総生産(GDP)と相関

アジア圏の経済成長

ゼラチン需要拡大

アジア主要国の経済成長率推移

国名	人口 (100万人)	2010	2011	2012 予測
中国	1353.8	10.4	9.2	7.8
インド	1223.2	10.1	6.8	4.9
インドネシア	244.5	6.2	6.5	6.0
ベトナム	90.4	6.8	5.9	5.1

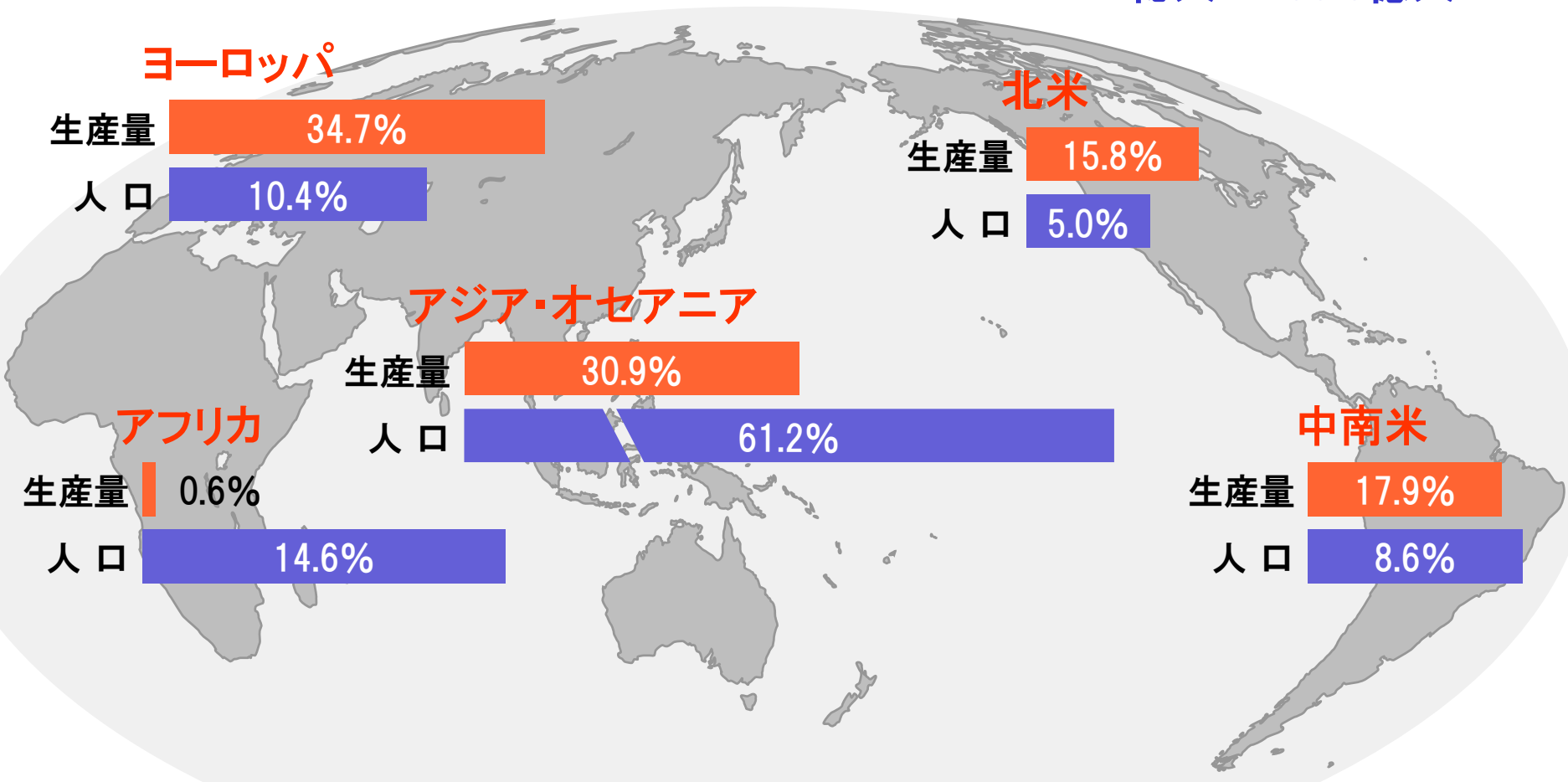
出典: 欧州ゼラチン工業組合、
環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で推計

出典: IMF-World Economic Outlook 2012.10

ゼラチン地域別生産量(2010年)

総生産量:34.6万トン

総人口:68.3億人



生産量:新田ゼラチン推定値

コラーゲン素材事業＝原料調達力

食肉産業の副産物



ゼラチン10,000トン

ご参考

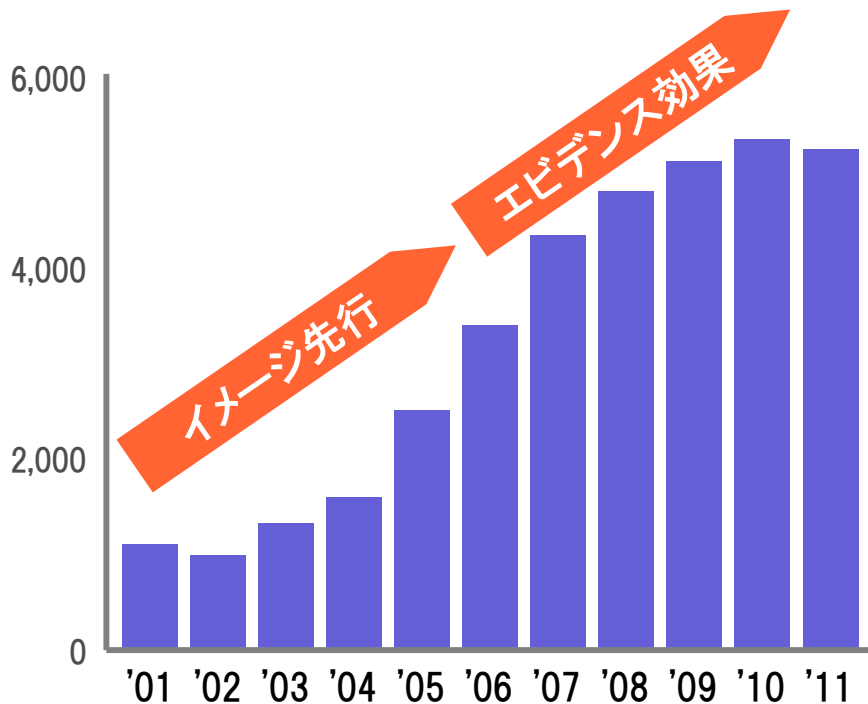
日本のと畜頭数
(2009年度)

牛 → 120万頭
豚 → 1,600万頭

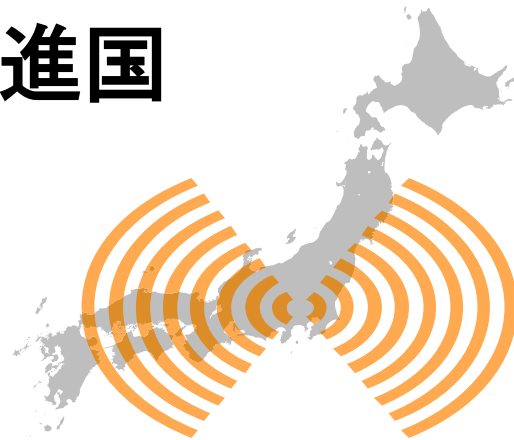
日本の養殖魚数
(2008年度)
16億匹分

コラーゲンペプチドは日本が先進国

日本におけるコラーゲンペプチド
販売量推移 (単位:トン)



出典:『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』



日本は世界への情報発信基地



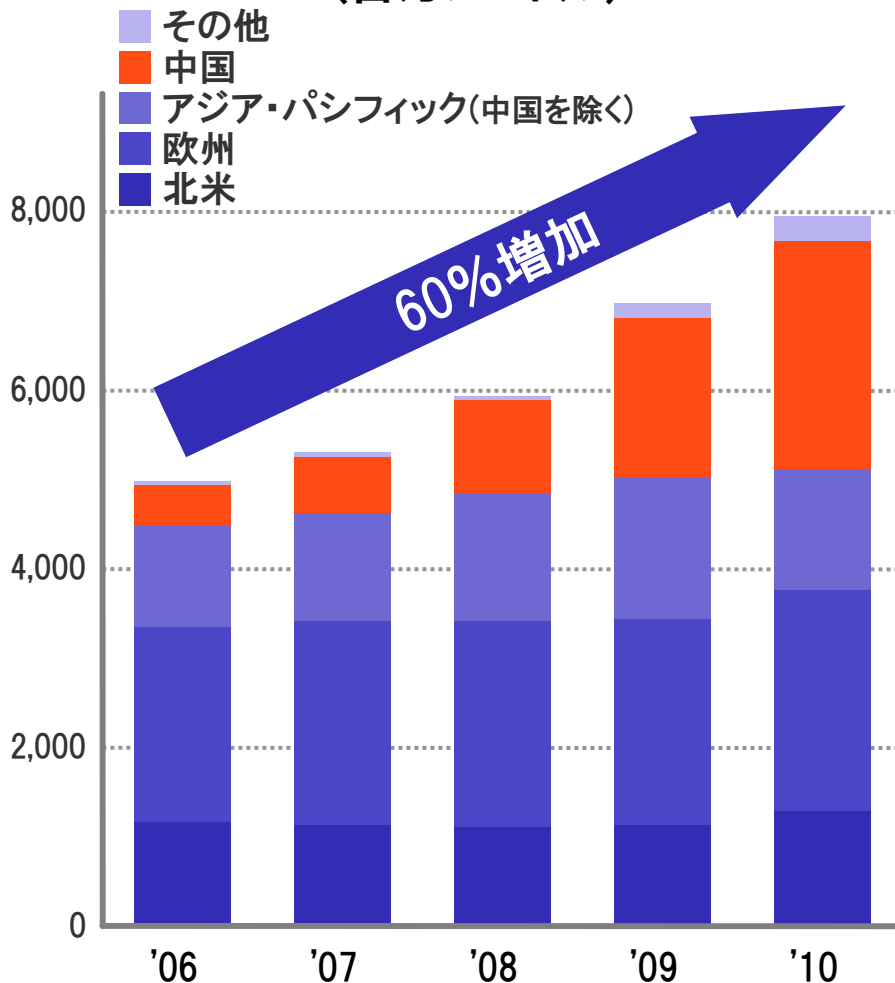
機能性研究: 骨・関節・皮膚への効果

城西大学 真野 博 教授 著

日本流通産業新聞
2011.01.01

コラーゲンケーシングの市場拡大

コラーゲンケーシング生産量
(百万メートル)



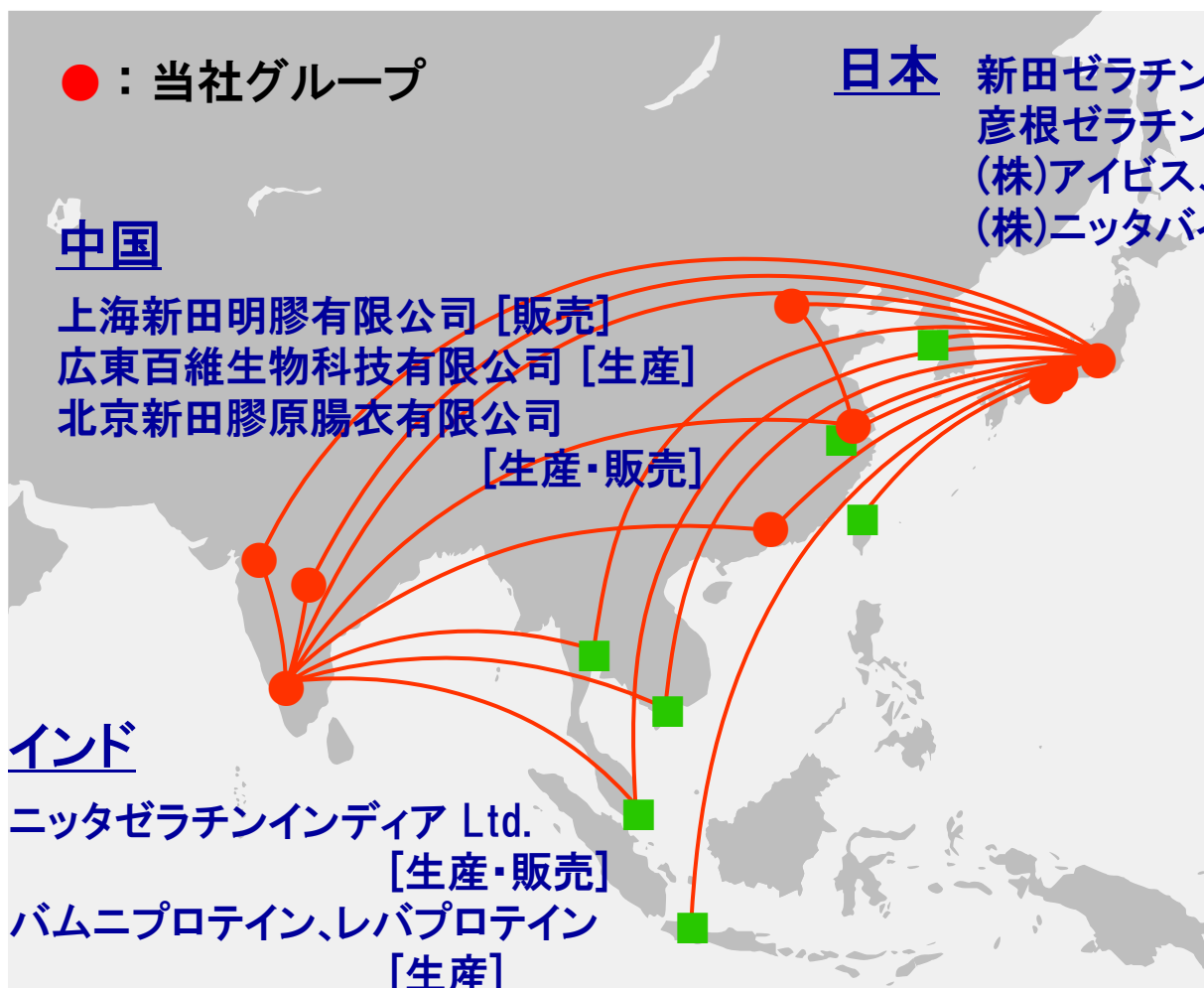
コラーゲンケーシング



ソーセージ製造

アジアフォーカス

アジア圏(9ヶ国)での事業拡大の基盤は整備済



- : 海外代理店
- 韓国
 - 中国
 - 台湾
 - ベトナム
 - シンガポール
 - インドネシア
 - タイ